

円急騰、一時99円台



電子速報版

2008年3月13日(木)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町二丁目五番

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2007 Yamagata Shimbu

山形新聞ホームページ

web <http://yamagata-np.jp>

携帯 <http://yamagata-np.jp/k/>

購読申し込み(9~17時)
0120-81-8040

詳しくは山形新聞14日付朝刊をご覧ください。

【ロンドン13日共同】十三日の欧州外国為替市場の円相場は、米国景気の先行き不安などを背景とするドル売り円買いが加速し、一時、一ドル＝九九円七十七銭をつけた。同市場で九九円台に突入したのは一九九五年十一月十日以来、十二年四カ月ぶり。

12年ぶり円高水準

円相場は対ドルで昨年未から約二月半で十円以上も急騰した。急激な円高は、日本の輸出企業の業績悪化を招くのは必至。連日最高値を更新する原油や鉄鉱石といった資源高、小麦などの穀物価格上昇なども重なり、日本経済への打撃となりそうだ。

最近の円高は、米国の信用力の低い人向け住宅ローン(サブプライムローン)問題の深刻化に伴う信用収縮や米景気の先行き不安が理由。米連邦準備制度理事会(FRB)の相次ぐ利下げで日米の金利差が縮小、円高ドル安傾向が加速してきた。ドルはユーロなど主要

通貨に対しては下落基調が鮮明で、「ドル全面安」の側面が強い。世界の基軸通貨であるドルの信認が揺らぎかねない事態となってきた。



円が急騰し、1ドル＝100円突破を示すモニター＝13日午後5時35分、東京・日本橋室町のトウフォレ上田

円相場 米ドルなど外貨と円の交換比率を指し、外国為替市場での取引で決まる。経済成長率や金利、物価、国際収支など経済の基礎的諸条件(ファンダメンタルズ)を反映して変動。市場関係者の思惑にも左右され、政府の市場介入で動くこともある。昨夏以降はサブプライム住宅ローン問題による米景気後退懸念の強まりとともに日米の金利差が縮小し、円高が進んでいる。日本経済は輸出への依存度が高いため、円高は自動車など輸出産業の価格競争力を弱め、景気の減速要因とされる。(共同)